

出演者に聴く



「ジェス」を演じた
佐々木 康士朗さん
中田中3年(追町八幡)

「ジェス」は初めて演じる主役で、初めての人間役でした。さまざまな場面の気持ちの作り方が難しく、歌のソロシーンに不安を感じていました。そこで、本番間近まで先生に指導を仰ぎ、自主練習を重ねました。ミュージカルは仲間と一緒に作り上げるもの。本番では練習してきた成果を発揮することに集中しました。公演後は練習が減り、仲間と会う機会やミュージカルに触れる時間が少なくなるので寂しいです。受験生ですが、勉強の合間に練習に参加したいと思っています。

「レスリー」を演じた
浅野 美咲さん
佐沼中3年(追町大網東)



自分の意見を持っていて、思ったことをはっきり言う「レスリー」にどうしたらなるのか、悩みながら稽古をしました。そんな中、先生から「レスリーの成長が見えてきた」と言われて自信につながりました。レスリーが成長していく姿を通して、お客さんに「人と向き合う勇気」を伝えられたらと思って演じました。ドリーム☆キッズのメンバーは自分にとって家族のような存在。演じることも歌うことも好きなので、これからも続けていきたいです。

観客に聴く



伊邊のぶ子さん
追町三方島

孫が入団したときから家族そろって欠かさず見に来ています。今回で6作品目の観賞になりました。年々、表現力や歌唱力が上達していて、孫だけでなく、劇団の成長も感じています。

須藤 僚大くん/早彩さん
彰大くん/未帆さん
東和町米川8区

親戚が出演しているので見に来ました。笑顔や泣いているときの表現がとても上手でした。エンディングの全員で歌いながら踊る場面が印象的で、感動しました。



1 団員たちは、互いを理解し合う大切さを、全身を使った迫真のパフォーマンスで演じきった2 個性豊かなクラスメイトたち3 森の入り口にあったロープで小川を越えて、妖精の国「テラビシア」へ4 悪の支配者ナイトメアが、巨人ピビアンを使ってテラビシアを襲わせようとしていると知り、ジェスとレスリーと一緒に戦うことを決意5 ピビアンが、みんなと遊びたくても力加減が分からず暴れているようにみえていたことにジェスは気付く。理解し合えれば友達になれると妖精たちを諭し、ピビアンと握手を交わす



第16回ミュージカル公演
「明日へ架ける橋～テラビシアからの贈り物～」

育まれる芸術文化

市内の小中高生を中心に活動するミュージカル劇団「ドリーム☆キッズ」の第16回公演「明日へ架ける橋～テラビシアからの贈り物～」(市、市教育委員会、公益財団法人登米文化振興財団主催)は9月8、9の両日、登米祝祭劇場で開かれ、詰め掛けた大勢の観客を魅了した。

団員は、夏休み返上で練習に励んだ。練習量は自信となり、本番では堂々と演じ、観客を魅了するキャストたち。2時間のミュージカルは、あつという間にフィナーレを迎えた。客席からは大きな拍手が送られ、舞台は大成のうちに幕を閉じた。舞台はキャストの努力だけでは成り立たない。舞台道具や衣装製作などのスタッフに支えられ、見に来てくれる人たちがいてこそ成功する。16回もの公演を成功させてきたドリーム☆キッズは、登米市の芸術文化を育み、これからも夢のある世界を演じ続けるはずだ。

「あらすじ」
内気な少年ジェスが通う田舎の学校「アステリズムスクール」。新学期、ジェスのクラスにレスリーという女の子が転校して来た。思ったことをはっきりいう彼女は、すぐに上級生にいらまれてしまう。学校でも家庭でも孤独を感じていた二人はある日、偶然見つけたロープで小川を飛び越えて森に入り「テラビシア」という想像上の妖精の王国を造り出す。その王国での冒険を通して友情を深めていく二人は、現実の学校でも「クラスメイト」と正面から向き合うという冒険に挑む。

2018年9月8日の午後4時。登米祝祭劇場の大ホールで、最後の練習となる通し舞台稽古を終えた団員たち。この1年間厳しい練習に励んできた。それは、これから迎える本番のためだ。開演2時間前の全体会。「緊張感に負けず、みんなで心を一つにして全力で頑張ろう」と、団員は気持ちを込めた。午後6時。観客で埋め尽くされた会場の照明が消え、ステージがライトに照らされた。舞台が幕を開け、キャストたちが元気よくステージに飛び出した。「ドリーム☆キッズ」は、地域に根ざして活動するミュージカル劇団。団員は市内と近隣市町の小中高生で構成され、今回の公演では団員29人、準キャスト6人が60を超える役を演じた。運営、広報活動、舞台道具や衣装の製作など、ほとんどの役割を保護者や地域のボランティアが担い、年1回の公演に向けて、団員と関係者が1年がかりで準備をしてきた。演劇集団「おむらいすファミリー」を主宰する渡部三妙子さんオリジナルの脚本が5月に完成。キャストは劇団内の選考会で決まった。



6 7 本番前の楽屋。団員OGや保護者が役者のヘアメイクを担当8 団員OGは、もぎりや会場案内でも活躍9 会場は市内外から訪れた親子連れなどで満席。2日間で1138人が訪れた10 舞台終了後、観客を見送るキャストたち

